

「ぶんぶんひろば」における授業の実践 「子どものための音楽会」 (学芸学部 音楽学科)

1 ねらい

子ども・子育て支援研究センターぶんぶんひろばにて、月に1回から3回、金曜日の11時30分から12時の30分間で開催している「子どものための音楽会」は、2011年度から広島文化学園大学学芸学部音楽学科2年次の「演奏活動Ⅰ・Ⅱ」の実践学習の一環としておこなっている。「演奏活動Ⅰ」(前期：2年選択科目)、「演奏活動Ⅱ」(後期：2年選択科目)は、それぞれ子どもを対象とした演奏会について、学内外での実践活動を通して、プログラムの組み方、企画の立て方、しゃべり方、立ち振る舞いを始め、子どもたちをひきつけるためのパフォーマンス力を磨くための科目である。また、子どもや保護者の演奏ニーズを把握し、そのニーズに応じた演奏会を開催できるようにすることを目標にしており、学内の実践学習として、未就学児とその保護者を対象とした「子どものための音楽会」を開催している。

2 活動の内容

前期の第1回目の授業において、学生たちに授業の目的や目標を伝え、過去の実践活動の様子をDVDやアンケート集計結果をもとに紹介している。まず、履修学生らは3名から6名のグループを組み、その楽器編成にあった内容と演出を考え30分のプログラムを作る準備を進めていく。学生らは童謡、唱歌、クラシック、アニメソングなどの演奏ほか、手遊び歌、音楽絵本や紙芝居、ペープサート、ダンスなどの企画を考え、30分のプログラムを飽きさせないような工夫を行っていく。そして、企画が固まり次第、授業内において企画発表をおこない、本番1週間前に通しリハーサルを実施する。学生らは互いに意見を出し合うことでプログラムを仕上げていく。

本番の様子はDVDで撮影し、保護者にはニーズ調査のアンケートを実施している。学生たちはアンケート集計とDVDの視聴を行い、子どもの反応やニーズ調査の結果をもとに、次の音楽会に向けたプログラム改善を行っている。また、後期

からは「子どものための音楽会」と並行し近隣の幼稚園、保育園、小学校、児童館での学外実習も行い、未就学児、園児、児童の年齢層の違いによる反応の違いやプログラムの組立て方などを実践的に学べるように設定してある。

2年目となる「子どものための音楽会」は、広島文化学園大学 広島 長束キャンパスでの音楽会として地域住民に広く定着し、参加希望者が多くなったため、安全面の配慮から、現在は事前に申し込んだ親子30組を限定にした開催としている。

3 2012年度実績報告

2012年度は前後期あわせて15回の「子どものための音楽会」を開催した。前期の履修学生は24名、後期の履修学生は16名である。

表1 2012年度「子どものための音楽会」実施概要

回	実施日	楽器編成
1	4月27日(金)	2Sop.、Perc.、Pf.
2	5月18日(金)	2Tp.、Hr.、Tb.、Tub.、Perc.
3	6月1日(金)	Ob.、3Cl.、Hr.、Pf.
4	6月15日(金)	4Tb.、Euph.
5	6月29日(金)	Gt.、Pf.、Perc.、Bass.、鍵盤ハーモニカ
6	7月20日(金)	Ob.、Cl.、Tp.、Tb.、Pf.
7	7月27日(金)	Tp.、Tb.、Perc.、Electone
8	10月12日(金)	Cl.、Tp.、Hr.、Euph.、Electone
9	10月26日(金)	Ob.、Cl.、2Tp.、Euph.
10	11月9日(金)	Sop.、Cl.、Pf.
11	11月30日(金)	2Tp.、Hr.、Tb.、Tub.、Perc.
12	12月14日(金)	Sax.、Tp.、Tb.、Euph.、Perc.、Pf.
13	12月21日(金)	Sax.、Tp.、Tb.、Euph.、Perc.、Pf.
14	1月18日(金)	4Tb.、Euph.
15	1月25日(金)	4Tb.、Euph.

(実践資料および授業記録から作成)



写真1 子どものための音楽会の様子(第2回)

表1は2012年度に開催した「子どものための音楽会」の概要をまとめたものである。1回から8回が前期履修学生による実践、9回から15回が後期履修学生によるものである。それぞれのグループ毎に「音楽で世界一周」「森の運動会」「紙芝居風音楽会」「アコースティックライブ」「クリスマスコンサート」など、テーマを決めて30分のプログラムを組み立てた。また、12月の2回と、1月の2回の実践はそれぞれ同じプログラム内容で実施した。

4 保護者へのアンケート調査の結果から

実践毎に保護者へのアンケート調査を行っている。その中から一部を抜粋で紹介する。

- ・いろいろ、演出や構成を考えて工夫されていてとてもよかったです。また、ほかの学生さん達も見に来て応援されたりしていて雰囲気の良いを感じました。ありがとうございました。これからも頑張ってください。



写真2 音楽と絵本を使用した実践の様子(第7回)



写真3 季節に合わせた選曲と演出(第15回)

- ・演奏だけでなく、被り物をかぶったりして楽しかったです。
- ・初めてぶんぶん広場にきました。本物の音を聴けるとはびっくりで、とても楽しかったです。
- ・歌ったりおどったり楽しかったです。学生さん頑張っておられますね！一緒にリズムをとれる曲が多くて良かったです。
- ・男子学生さんが頑張っているのが微笑ましかったし、なぜかほんわかした気分になりました。ありがとうございました。
- ・手遊びや踊りなどたくさん工夫がされていてとても楽しかったです。ありがとうございました。
- ・ふだんじっとしていない子がちゃんと座って聞けました。素晴らしかったです。
- ・大人も一緒に楽しめました。癒されました。

保護者の感想から、学生たちが趣向を凝らした演出や選曲に対して、良かったという感想が多くみられた。また、普段じっとしてられない子が、静かに音楽を聴く事ができた。という記述も多くみられた。さらに、子どものための音楽会へ何度も参加している保護者からは、「次回は木管楽器の音色を聴きたい。」「今回は今までよりも良かった。」「声が小さいので自信を持って話してほしい。」「手遊び歌をたくさん入れてほしい。」などの要望や、学生へのアドバイスに関する具体的な記述がみられた。

5 今後の展望

レポート課題に書かれた学生の感想や、実践の様子から、「子どものための音楽会」を通して、学生たちは子どもを対象とした音楽会の開催について、経験を積みながら成長している様子がわかった。また、保護者も回数を重ねるごとに要望や感想が具体的な記述になっており、学生だけでなく参加する保護者にも変化が見られることが分かった。

現在、授業では子ども達を楽しませるための選曲とパフォーマンスを中心にプログラムを組み立て、指導をおこなっているが、今後は音楽学科の学生として、より質の高い演奏が提供できるよう、演奏面の指導にも力を注ぎ、音楽的にも学生と対象者が成長していけるような授業内容にしたいと考えている。

(文責：学芸学部 音楽学科 高橋 千絵)